

# 自治体連携による瀬戸内地域の活性化と地(知)の拠点整備

## 香川大学

### ポイント

#### 瀬戸内地域活性化プロジェクト

⇒ 自治体連携事業を体系的に推進

- 自治体支援事業について  
財政支援 国:自治体=5:5を実現
- 自治体支援を定着させて継続的な事業スキームを構築
- 地域再生、教育、研究、社会貢献を融合的・重層的に推進
- 学生参画・教員参画を全学の20%以上に引き上げ
- 地域連携戦略室を設置して全学的な取組体制を整備

### 研究

- 新産業創出プログラム
  - 希少糖関連事業推進
  - 医療・福祉関連事業推進
  - ものづくり事業推進
- ものづくり人材創出拠点の形成

### 教育

- 自治体連携事業:  
瀬戸内地域活性化プロジェクト(=カリキュラム改革)  
全学共通科目「瀬戸内地域活性化プロジェクト」の新設  
プロジェクト型授業(フィールドワークの積極的導入)  
高学年科目の設置(4年一貫型)  
地域インターンシップの実施
- 地域貢献事業:  
フィールドワーク型授業の充実  
→地域に貢献できる人材の育成  
課題探求・解決力のある人材の育成  
主体的な学びができる人材の育成

### 社会貢献

- 生涯学習振興の体制整備
- 生涯学習機能・事業の充実(サテライト・オフィス)
- 広報機能の強化

## 高松市

街活性化PJ

観光振興PJ

定住促進PJ

産業振興PJ

## 東かがわ市

定住促進PJ

## 三木町

医療福祉PJ

## 丸亀市

定住促進PJ

## 三豊市

粟島活性化PJ

地域活性化PJ

情報発信PJ

## 観音寺市

定住促進PJ

## 宇多津町

地域活性化PJ

定住促進PJ

新産業創出PJ

成長戦略人財育成PJ

## 香川県

# 香川大学COC事業の特徴

## 1. 瀬戸内地域活性化プロジェクトによる地域課題への対処

- ◎自治体連携事業を体系的に推進して様々な**地域ニーズに対応**。
- ◎**全学部の学生が参画**できるプロジェクトチームを設置（現在113名）。
- ◎学生が地域での実体験を通じて学ぶ**プロジェクト型の授業を創設**。

## 2. 明確な自治体の財政支援

- ◎財政負担について、**国:自治体=5:5を実現**。
- ◎地域活性化の取組と政策提言で**自治体支援を定着**させる。
- ◎COCの**継続的な推進の財源スキームを構築**。

国
自治体

## 3. 地域活性化のための特別なシーズ

- ◎地域活性化を目的としたMBAの大学院地域マネジメント研究科による**地域公共政策に関する特別なシーズ**を活かす。
- ◎同研究科に**自治体との調整を一元化**することで総合調整が可能に。

# 瀬戸内地域活性化プロジェクト [事例]

離島振興・街の活性化・定住促進対策などの地域課題にチームで対処していく

## 粟島活性化PJ

## 三豊市

## 離島振興

### 【地域課題】

人口減少  
高齢化



### 【対処策】

瀬戸内国際芸術祭  
を活かした交流人口  
の増加



### 【地域目標】

アートを活かした  
長期滞在・人口  
定着



チームでお休み処運営

## 街活性化PJ

## 高松市

## 商店街振興

### 【地域課題】

商店街にもっと  
若者が出向いて  
活気ある街に



### 【対処策】

若者が集まり賑わ  
うイベントの開催  
情報誌の発刊  
商店構成の分析など



### 【地域目標】

若者が集い賑わう  
街に  
商店街の側も商店  
構成や商品で対応



## 地域活性化PJ

## 宇多津町

## 景観づくり

### 【地域課題】

新都市と古町  
の融合的発展



### 【対処策】

古町の魅力を引き  
出すイベントを開催  
街並みについても提言



### 【地域目標】

和風の景観で  
活気のある街に



## 定住促進PJ

## 東かがわ市

## 過疎対策

### 【地域課題】

人口減少と  
高齢化が  
急速に進展



### 【対処策】

大学生が地域の  
お祭りを考案  
コミュニティーに参画  
定住する条件を提言



### 【地域目標】

大学入学や就職で  
の人口流出を防ぎ  
働き暮らせる街に

